



Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2014.12

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-2
支部だより・・・K-5

CALENDAR カレンダー

会
告

期日	講演・会合等名称(会場),《共催等》,太字=本会関連
2014年(平成26年)	
12/3~6(水~土)	第108回日本食品衛生学会学術講演会(石川)
12/5(金)	日本乳酸菌学会2014年度秋期セミナー 酢酸菌研究会第6回研究集会 合同シンポジウム「乳酸菌・酢酸菌の生存戦略と産業利用」(日大)
12/5~6(金~土)	文部科学省科学研究費補助金(研究領域提案型)「生合成マシナリー:生物活性物質構造多様性創出システムの解明と制御」(平成22年~26年度) 第8回公開シンポジウム(東大) 《後援》
12/6(土)	日本農芸化学会関西支部例会(第487回講演会)(神戸大)
12/8(月)	東京大学生物生産工学研究センターシンポジウム「生合成マシナリーの精密解析と有用物質生産への応用」(東大)
12/8~9(月~火)	第14回基準油脂分析試験法セミナー—油脂・脂質分析の基礎から食品の分析まで—(東京) 《協賛》
12/8~10(月~水)	第41回炭素材料学会年会(福岡) 《協賛》
12/11(木)	理研シンポジウム「第15回 分析・解析技術と化学の最先端」(和光) 《協賛》
12/11~13(木~土)	日本生体エネルギー研究会第40回討論会(愛媛)
12/12~13(金~土)	第9回バイオミネラリゼーションワークショップ(東大)
12/13(土)	平成26年度日本農芸化学会北海道支部講演会(北大)
12/13(土)	第51回好塙微生物研究会(近畿大)
12/17(水)	革新的環境技術シンポジウム 2014~クリーンで経済的な低炭素社会を目指して~(東大) 《後援》
12/17~19(水~金)	Active Enzyme Molecule 2014(富山) 《後援》
2015年(平成27年)	
1/10(土)	第20回高専シンポジウムin函館(函館工業高専) 《協賛》
1/11~14(日~水)	Natural Products 2015—Natural Product Discovery & Development in the Post Genomic Era 2015—(アメリカ)
1/19~20(月~火)	第26回高分子ゲル研究討論会(東大) 《協賛》
1/22~23(木~金)	H26CAST教育講座「糖鎖科学・糖鎖工学の基礎から応用」コース(川崎) 《後援》
1/24(土)	学会創立90周年記念日本農芸化学会中四国支部第41回講演会(例会)(水産大学校)
1/24(土)	第309回西日本支部例会および講演会(九大)
1/31(土)	日本農芸化学会関西支部例会(第488回講演会)(京大)
3/13(金)	第20回ペプチドフォーラム「生命分子・ペプチド機能に学ぶ医薬品」(長浜バイオ大) 《協賛》
3/26(木)	第41回農芸化学「化学と生物」シンポジウム(岡山)
3/26~29(木~日)	日本農芸化学会2015年度(岡山)大会(岡山,岡山大)
3/29~30(日~月)	第22回農芸化学Frontiersシンポジウム(美作)
5/14~18(木~月)	第12回アジア栄養学会議(The 12th Asian Congress of Nutrition)(ACN2015)(横浜) 《後援》
6/23~25(火~木)	International Scientific Conference on Probiotics and Prebiotics-IPC2015(ハンガリー)

本会告ページは、「化学と生物」2015年1月から掲載を停止いたします。1月以降の会告につきましては、本会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧くださいますようお願い申し上げます。

学会キーワード変更のお知らせ

農芸化学会のキーワード「生命」「食糧」「環境」のうち「食糧」を「食」へと変更します。

日本農芸化学会は本年創立90周年を迎え、より社会に貢献して存在意義のある学会として継続発展するために、この度表題のごとくキーワードの見直しを行います。ご存知のように、農芸化学会では研究領域を表すキーワードとして「生命」「食糧」「環境」の3つを挙げてきました。

その中で、「食糧」は歴史的に見ても大変意味も重みもある言葉ですが、今日の「食の安全・安心」や「高齢化」など社会が直面する課題に対して「食」の生理的意義などがより重要視される中で、学会が取り組むべき広い研究領域をあらわす言葉としては伝統的な「食糧」よりも「食」という言葉が、よりふさわしいと判断するに至りました。

今後は包括的な意味がわかりやすい「食」と言う言葉のもとで、「食べるもの」と「食べること」についての新しい化学的生物学的研究を幅広く推進していきます。

農芸化学会の良き伝統は守りつつ、新しい考え方や社会環境の変化にも迅速果敢に対応し、100周年やその先の学会の発展に会員の皆様とともに取り組んでいきたいと考えます。会員の皆様には是非この経緯をご理解いただければ幸いです。

2014年11月
日本農芸化学会
会長 清水 誠

日本農芸化学会2015年度大会のお知らせ

1. 開催概要

会期：2015年3月26日（木）～29日（日）

会場：

【3月26日（木）】授賞式・受賞講演・農芸化学「化学と生物」シンポジウム・懇親会：ホテルグランヴィア岡山（〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5）／【3月27日（金）～29日（日）】一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等：岡山大学津島キャンパス（〒700-8530 岡山市北区津島中）

2. プログラム

【第1日目（3月26日）】 学会賞等授賞式、受賞講演、農芸化学「化学と生物」シンポジウム、懇親会／【第2日目（3月27日）】 一般講演、ジュニア農芸化

学会（52巻11号t-11ページ）、男女共同参画ランチョンシンポジウム、ランチョンセミナー、機器・試薬・書籍等展示会／【第3日目（3月28日）】 一般講演、ランチョンセミナー、産学官学術交流委員会フォーラム（52巻11号t-12ページ）、ミキサー、機器・試薬・書籍等展示会／【第4日目（3月29日）】 一般講演、ランチョンセミナー、JABEEランチョンシンポジウム（52巻11号t-13ページ）、シンポジウム（シンポジウム一覧は52巻11号t-3ページ）、機器・試薬・書籍等展示会

3. 一般講演申込

一般講演の申込および発表要旨の投稿はWEBで受け付けます。

※一般講演の申込は、本会の個人会員に限ります。個人会員でない方は会員登

録が必要です。

※一般講演の発表には、2015年度までの会費および大会参加費が完納されていることが必須です。

※一般講演申込の前に、大会参加登録いただきます。

※一般講演申込・要旨投稿 WEB受付期間：2014年11月4日（火）～12月8日（月）正午

※一般講演申込をされた方は、指定期日までに大会参加費の納入をお願いいたします。

※大会参加費の納入は、WEB上でのクレジットカード決済・コンビニ決済をお願いいたします。

※下記ページを必読のうえ、お申込ください。

（52巻11号t-4ページ）一般講演申込、

要旨投稿要領

- (52巻11号t5ページ) 申込分類表
 (52巻11号t7ページ) 講演(発表)要領
 (52巻11号t7ページ) WEB申込・投稿システムご利用上の注意点
 (大会ホームページ) 大会における研究発表の特許手続き上の証明(詳細は2015年度大会ホームページをご覧ください。)

4. 大会参加申込

大会参加の申込はWEBで受け付けます。

※参加申込 WEB受付期間(口頭発表者以外): 2014年11月4日(火)~2015年3月29日(日)正午

※一般講演申込をされた方は、新たに登録いただく必要はありません。

※大会参加費の納入は、WEB上でのクレジットカード決済・コンビニ決済をお願いいたします。

※下記ページを必読のうえ、お申ください。

(52巻11号t8ページ) 大会参加申込要領(口頭発表者以外)

※WEBでの申込が困難な場合は、52巻11号t14ページの参加申込書を切り取り、Fax(03-3815-1920)または郵送(〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階)で日本農芸化学会事務局大会係宛にお送りください。代理で登録し、オンライン参加受付番号をお知らせいたします。

5. 懇親会

懇親会参加専用WEBページからも申込いただけます。

一般講演申込者で懇親会参加未定の方は、講演申込の際には、「参加しない」を選択してください。参加が決定しましたら、上記懇親会参加専用WEBページでお手続きください。

6. 参加費

下記ページを必読してください。

(52巻11号t9ページ) 参加費

(52巻11号t10ページ) 参加費の納入に関する注意点

7. 申込から大会当日までの流れ

(1) 口頭発表者の方 ※共同発表者は除きます。

① 2014年12月8日正午まで: WEBから一般講演の申込と講演要旨(Word)を投稿する(手順はWEB画面の指示に従ってください)。

② 2014年12月8日正午まで: 大会参加費をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済する(推奨)。

※参加費を12月8日までにお支払いされた方には、12月下旬、講演日時・会場・講演番号をE-mailで通知いたします。

※12月8日以降は、大会参加費の入金を確認次第、講演日時・会場・講演番号の通知を行います。

③ 2015年3月初旬: 大会プログラム集が届く。*8.大会プログラム集を参照。

④ 2015年3月5日: PDF版大会講演要旨集の閲覧先URLがE-mailで通知される。*9.大会講演要旨集を参照。

⑤ 2015年3月初旬~中旬: 大会参加証(懇親会参加者には指定マーク付き)が届く。

⑥ 2015年3月26日~29日: ③の大会プログラム集、④のPDF版大会講演要旨集(各自で必要なページを出力)および⑤の大会参加証を持参して2015年度大会へ参加。

(2) 口頭発表者以外の方で、事前割引料金で大会に参加される方

① 2014年11月4日から2015年2月10日正午まで: WEB上で参加申込をする。

② 2015年2月10日正午まで: 大会参加費(事前割引料金)をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済する(推奨)。

※2月10日正午以降は大会参加費は正規料金となります。ご注意ください。

③(1) 口頭発表者の方の③~⑥と同じ

(3) 口頭発表者以外の方で、正規料金で大会に参加される方

① 2015年2月10日午後から2015年3月29日正午まで: WEB上で参加申込をする。

② 2015年2月10日午後より: 大会参加費(正規料金)をWEBクレジットカード決済またはコンビニ決済す

る(推奨)。

③ E-mailに通知された受付番号をもって当日受付へ。

8. 大会プログラム集: 「2015年度大会プログラム集」(冊子)(2015年2月25日発行)は、3月初旬にお送りいたします。

9. 大会講演要旨集(シンポジウム要旨、ランチョンセミナー要旨等を含む): 「2015年度大会講演要旨集」(2015年3月5日発行)は、PDFファイル版のみを刊行いたします。大会参加費をお支払いされた方には、閲覧用パスワードとともにアクセス先URLをE-mailにてご案内します。

10. 大会参加証: WEBで大会参加申込をされ、かつ2015年2月10日までに大会参加費を納入いただいた方には、3月に発送する予定です。

11. 懇親会参加証: 大会参加申込の際、懇親会参加を申し込み、かつ懇親会参加費を2015年2月10日までに納入いただいた方には、大会参加証に懇親会参加者マークを付けて、3月に発送する予定です。

12. 託児ルーム (52巻11号t11ページ)

13. 宿泊等のご予約 (52巻11号t10ページ)

14. 公共宿泊施設 (52巻11号t11ページ)

15. 大会実行委員会(一部抜粋)

実行委員長: 稲垣賢二(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授) Tel. 086-251-8299, E-mail: kinagaki@okayama-u.ac.jp

副実行委員長: 上村一雄(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授) Tel. 086-251-8305, E-mail: kamimura@okayama-u.ac.jp

総務担当(責任者): 神崎 浩(岡山大学大学院環境生命科学研究科教授) Tel. 086-251-8297, E-mail: hkanzaki@okayama-u.ac.jp

16. 大会の申込・要旨投稿等全般に関する問合せ先

[日本農芸化学会事務局大会係] 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920,

E-mail: kouen@jsbba.or.jp

学生会費の減額・会誌の刊行にかかる重要なお知らせ

会員の皆さまへ

公益社団法人日本農芸化学会
会長 清水 誠

このたび日本農芸化学会は、2014年度に引き続き、**2015年度よりの学生会費のさらなる減額を決定いたしました。**また、和文誌の発行形態の変更に伴い、**和文誌冊子体購読希望者の募集を行いますのでお知らせいたします。**

なお、手続きの簡便化や事務費削減をさらに図るため、会費の納入方法についての希望調査を実施いたします。
本学会の更なる発展のため、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

① 学生会費の減額

学生会員の負担を軽減するとともに学生会員の増加を期待して、学生会費（2015年度～）を減額いたします。来春卒業または大学院修了予定の方は（3月までに会費納入の場合）、次年度分会費として改定後の学生会員費（3,000円）が適応されます。

なお、2015年度会費の請求は2015年度大会の参加登録時期（11月4日～）にあわせて行います。

(1) 改定する会費の対象と金額

対象	現在の会費	2015年度からの会費
学生会員	4,000円	3,000円 (1,000円値下げ)

(2) 会費の請求時期

現在	2015年度より
11月：WEB決済	11月：WEB決済、口座引落、
12月：口座引落、 郵便振替用紙	郵便振替用紙

② 和文誌「化学と生物」冊子体の年間購読

すでにお知らせいたしておりますように2015年度より「化学と生物」は基本的には現行の冊子体版からオンライン版中心に移行いたします。会員の皆さまは無償にてオンライン版を閲覧いただくことができますが、下記年間購読

料を別途納入していただくことで「化学と生物」冊子体も年間購読することができます。冊子体ご希望の方は、学会事務局から配信される冊子体購読希望調査に希望の有無をご回答ください。購読者登録の受付は8月上旬から開始いたしました。

なお、すでにお知らせしたとおり、「化学と生物」オンラインは、2014年5月より、試行版の公開を始めています。会員の皆さまには個人／法人マイページにおいて、冊子体発行日に先立ち、オンライン版を早期閲覧することが可能となっておりますので、オンラインもぜひ便利にご利用ください。

(1) 年間購読料

対象	料金
一般会員、教育会員、学生会員、国外在住会員	2,000円（3月号～2月号の年12冊分）
	※1冊あたりの書店通常購入価格 1,296円

③ 会費の納入方法調査

各種事務手続き変更の煩雑さを解消し、事務費削減を図るため、会費の納入方法についても調査を実施いたします。

上記②和文誌「化学と生物」冊子体の年間購読希望調査とあわせて実施いたしますので、何卒ご協力をお願い申し上げます。

以上

本会推薦による賞・助成金情報

現在、本会では下記の賞・助成金の本会推薦候補者を募集しています。適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成金情報（<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>）もご覧ください。

【賞】 ○第56回藤原賞（12/24締切）

【助成】 ○(公財)山田科学振興財団2015年度研究

援助（2015/1/30締切）

《問合せ・応募先》 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内
日本農芸化学会事務局授賞係
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: shomu@jsbba.or.jp

第65回国際会議出席費補助金交付候補者募集要項

対象：海外で開かれる農芸化学諸分野の国際会議出席希望者。ただし、2015年4月1日から2015年9月30日までに開かれる国際会議で発表を予定している方。

補助金の金額：1件20万円以内、4件程度（総額80万円）

応募方法：所定の申請書に必要事項を記入のうえ、当財団宛てに郵便にてご送付く

ださい。

※申請には必ず会議での発表予定論文の要旨および招請状を添付してください（要旨は英文、和文いずれも可。コピー可）。用紙はA4判を用いること。

応募の締切：2015年1月31日（土）当日消印有効

補助金の交付：2015年3月

応募先・申請書請求先：〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階 公益財団法人農芸化学研究奨励会事務局
Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920
E-mail: acrf_info@jsbba.or.jp

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さん、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

趣旨：日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1~2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

(PDF) にてお申込みください。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階
Tel. 03-3811-8789

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

会費の領収書について

会費の領収書は本会ホームページの会員Mypage (<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>) からダウンロードできます。領

収書をご入用の方は、上記ページにログインし、ご自身の会費領収書をダウンロードしてくださいますようお願いいたします。

問合せ先：日本農芸化学会事務局会員係

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2F

Tel. 03-5803-9561

E-mail: kaiin@jsbba.or.jp

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないよう十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない個所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいたいないようでしたら是非ご登録下さいますようご協力く

ださい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行ってください。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

《事務局会員係》 Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp

懇親会：講演会終了後「さくら」にて開催

問合せ先：神戸大学大学院農学研究科 水谷正治 (078-803-5885)

E-mail: mizutani@gold.kobe-u.ac.jp

詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp/> をご覧ください。

いるのか

1. (株)ライフサイエンス研究所常務取締役研究所長 杉 正人氏「企業研究最前线—農芸化学の研究手法を生かすには」, 2. 日本甜菜製糖(株)総合研究所主席研究員名倉泰三氏「ビート糖の省エネ・環境への取組みと副産物利用」, 3. 日清オイリオグループ(株)執行役員 青山敏明氏「中鎖脂肪酸の可能性—アルツハイマーへの挑戦—」

16:40 ポスタータイム（1階ロビー）

17:40 ポスター賞表彰・閉会

ポスター発表演題募集、ポスター賞の詳細はホームページ (<http://www.agr.hokudai.ac.jp/jsbba/>) でお知らせいたします。

連絡先：農芸化学会北海道支部 支部庶務



支部だより

日本農芸化学会関西支部例会 (第487回講演会)

開催日：2014年12月6日（土）

会場：場所：神戸大学農学部（神戸市灘区六甲台町1-1）

プログラム：一般講演、特別講演「ヘリコバクターピロリ感染と胃がん」（東 健、神戸大学医学研究科）、2014年度日本農芸化学会功績賞受賞講演「食品製造における速度過程が関与する現象の工学的解析」（安達修二、京都大学農学研究科）

平成26年度 日本農芸化学会北海道支部講演会

日時：2014年12月13日（土）13:00～

場所：北海道大学学術交流会館小講堂（1F）

13:00 開会挨拶・支部賞授賞式

13:10～14:40 受賞講演

14:50～16:35 シンポジウム

企業研究最前线—日本企業は何を目指して

幹事 和田 大
〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
Tel. 011-706-4185, Fax. 011-706-4961
E-mail: JSBBA_Hokkaido@agr.hokudai.ac.jp

学会創立90周年記念 日本農芸化学会中四国支部 第41回講演会（例会）

開催日：2015年1月24日（土）
会場：水産大学校 講義棟（〒759-6595山口県下関市永田本町2丁目7-1, JR山陰本線吉見駅から徒歩15分）

プログラム：

12:10～13:00, 支部参与会
13:15～13:35, 2014年度農芸化学奨励賞受賞講演：「消化管のタイトジャンクション機能を制御する食品成分・生体内因子に関する基礎的研究」鈴木卓弥（広島大院・生物圈）
13:35～15:15, ミニシンポジウム：『農芸化学によって拓かれる水産の未来』「攻めの水産業における香りの可能性」赤壁善彦（山口大・農）, 「水産食品の安心・安全確保に向けた毒素検出法の開発」池原 強（水大校・食品科学）, 「食用海藻の高付加価値化につながる抗アレルギー成分」杉浦義正（水大校・食品科学）, 「伝統食品加工技術を応用した新たな水産食品の開発」福田 翼（水大校・食品科学）
15:25～, 一般講演

講演申込締切：2014年12月22日（月）
今回よりWEB上での演題登録となります。ご注意ください。

講演要旨締切：2015年1月5日（月）

講演要旨提出先専用アドレス：jsbba2@net-s.ne.jp

懇親会：講演会終了後、下関春帆樓本店（〒750-0003 山口県下関市阿弥陀寺町4-2, Tel. 083-223-7181）にて開催（送迎バスあり），懇親会参加費正会員8,000円（学生4,000円）（予定）

世話人：水産大学校食品科学科 原田和樹
問合せ・懇親会申込先：水産大学校食品科学科 白井将勝

Tel. 083-286-5111（代表）

E-mail: usuim@fish-u.ac.jp

なお詳細は支部ホームページ（<http://jsbba-cs.jp/>）をご覧ください。

第309回西日本支部例会および 講演会

期日：2015年1月24日（土）

会場：九州大学農学部

支部参与会（12:00～）農学部4号館6階4-610教室, 支部活動報告会（13:00～13:10）農学部5号館1階5-117教室, H26年度支部奨励賞（学生）および支部奨励賞（一般）の受賞講演（13:10～13:50）

特別講演会（14:00～）：神田康三（佐賀大学農学部）「Bacillus thuringiensisにおける交流研究～結晶体毒素、時々ファージ

～」, 野村善幸（崇城大学生物生命学部）「微生物とともに37年」, 山田耕路（九州大学大学院農学研究院）「食品成分の多機能性の解明とその活用について」

懇親会（16:00～18:00）：農学部4号館6階4-610

詳細は支部ホームページにて（<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>）

事務局：九州大学大学院農学研究院（角田佳充）

Tel. 092-642-2854, Fax. 092-642-2854

日本農芸化学会関西支部例会 (第488回講演会)

開催日：2015年1月31日（土）

会場：京都大学楽友会館（京都市左京区吉田二本松町）

プログラム：

一般講演, 農芸化学奨励賞受賞講演：「構造生物学を基盤とした糖質の認識・輸送・分解機構に関する研究」丸山如江（摂南大・理工）

講演申込締切：2015年1月6日（火）

講演要旨締切：2015年1月13日（火）正午
懇親会：講演会終了後, 京都大学楽友会館食堂にて開催

問合せ先：京都大学大学院農学研究科由里本博也（075-753-6387）

E-mail: yury@kais.kyoto-u.ac.jp

詳細はホームページ（<http://www.kansaijsbba.jp/>）をご覧ください。

メールアドレス登録のお願い

本会では、マーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るために、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係（shomu@jsbba.or.jp）まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。